

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 - デザイン - 2
-----------------	---------------

平成 20 年度配分 研究成果の概要

研究名	次世代デザイン学部のあるべき姿の考察				
配分を受けた特別研究費	特別研究費 2650 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
		デザイン学部 メディア造形学 科	准教授	的場ひろし	調査・研究 全体とりまとめ
共同 研 究 者		デザイン学部 生産造形学科	准教授 講師	山本一樹 高山靖子	調査・研究
		デザイン学部 メディア造形学 科	講師	和田和美	調査・研究
		デザイン学部 空間造形学科	講師	花澤信太郎	調査・研究
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 10 号 (2010年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:学内での発表会		発表日 (発表 予定日)	平成 22 年 3 月	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本学をとりまく環境が大きく変革する中、デザイン学部のあり方を再検討する必要性が増している。デザイン学部を構成する諸要素に対して、現状及び将来にわたっての妥当性を検討し、より良いデザイン学部を実現するための改善、改革の提言を行うことを目的とする。

(研究の実施方法等)

- ・メンバーによるミーティングの実施(全5回)
- ・メンバーによる、各学科工房設備確認
- ・メンバーによる、各学科卒業研究制作展内容確認
- ・他大学のWEB・パンフレットに基づく情報整理
- ・国内美術系・デザイン系大学訪問
- ・国内学会、展示会等の見学
- ・米国 デザイン系大学訪問
- ・イタリア デザイン系大学訪問

(得られた成果等)

得られた情報をもとにして、重要な討議項目として、下記の項目をリストアップし、討議を開始した。討議結果を報告にまとめ、今年度中に学内での発表を行う予定。

#### 1 学科構成

現在の1学部3学科の構成が適切か？  
より望ましい構成は？

#### 2 選任教員以外の人材活用

非常勤講師等の外部の人材を活用するためのより適切な体制は？  
また、どのような分野においてこのような体制が必要なのか？

#### 3 教育を強化すべき領域

「インタフェース」「グラフィクス(視覚伝達)」「インテリア」「音楽・楽器」等、現行の教育体制からなんらかの変革により、さらに充実した教育が可能になると思われる分野にはどのようなものがあるのか？  
その改善方法は？

#### 4 ハイレベル学生

理想的な「ハイレベル学生」像とその育成方法

#### 5 最低限なレベルの教育

最低限身につけるべきレベルとその教育方法

#### 6 大学からの情報発信

どのようなチャネルを使ってどんな情報を発信すべきか？  
また、そのために必要な施策は？